

2 滑走路延長に向けた取り組み

- (1) 令和元年度の要望活動報告
- (2) ボルガ・ドニエプル航空との覚書締結
- (3) 調査費計上について
- (4) 今後の取組み予定について

2-(1) 令和元年度の要望活動報告



▲麻生財務大臣への要望活動



▲赤羽国土交通大臣への要望活動

北九州空港の機能強化に関する

要 望 書

令和元年11月

北九州商工会議所 北九州市 北九州市議会
北九州空港機能強化・利用促進特別委員会

実施日 令和1年11月14日

【要望者】

- ◆北九州商工会議所 会頭
- ◆北九州市 市長
- ◆北九州市議会 議長
- ◆北九州空港機能強化
利用促進特別委員会 委員長

2-(1) 令和元年度の要望活動報告



▲赤羽国土交通大臣への要望活動



▲山田国土交通技監への要望活動

北九州空港の機能強化に関する

要 望 書

令和2年2月

福岡県

北九州市

福岡県議会

北九州市議会

北九州空港機能強化・
利用促進特別委員会



▲航空局長への要望活動

【要望者】

- ◆福岡県 県知事
- ◆福岡県議会 議長

- ◆北九州市 市長
- ◆北九州市議会 議長
- ◆北九州空港機能強化
利用促進特別委員会 委員長

実施日 令和2年2月27日

2-（2） ボルガ・ドニエプル航空との覚書締結

特殊大型貨物輸送の世界的な貨物航空会社、ボルガ・ドニエプル航空と福岡県・北九州市が北九州空港における航空貨物の利用促進を図る事で、地域経済に貢献するパートナーシップ体制を実現するために締結。

同社と日本の地方自治体とのMOU締結は、今回が初めてであり、北九州空港の貨物拠点化の推進と空港機能強化に大きな弾みが付くことが期待。



北九州空港利用促進に係るMOU締結式

令和2年1月29日

【地元行政にとっての効果】

- ・ 駐機拠点として北九州が選択肢に上がる事で貨物拠点化を大きな柱の一つにした空港利用活用のビジョン、及び価値向上に大きく貢献。
- ・ 滑走路延長をはじめ、空港機能拡充の大きな契機。
- ・ 世界的な航空会社であるVDAとの本覚書締結が国内のみならず、海外含め北九州のプロモーションとなること

2-(3) 調査費計上について

- 1 調査主体
国土交通省
- 2 調査内容
 - ・費用対効果(B/C)の検証
 - ・PI(パブリック・インボルブメント)
 - ・環境影響評価に係る調査 など
- 3 調査金額
約1億円
- 4 公表状況
議長・特別委員会委員長・市長 共同記者会見
※公表内容は国からの聞き取り

(記者会見資料)

令和2年3月31日

北九州空港の滑走路延伸にかかる調査費について

○北九州空港の滑走路延伸については、長年要望を続けており、特に今年度は、市議会を始め地元産業界、福岡県との緊密な連携により、国土交通省、財務省にこれまで以上に強い要請を行ってきたところです。

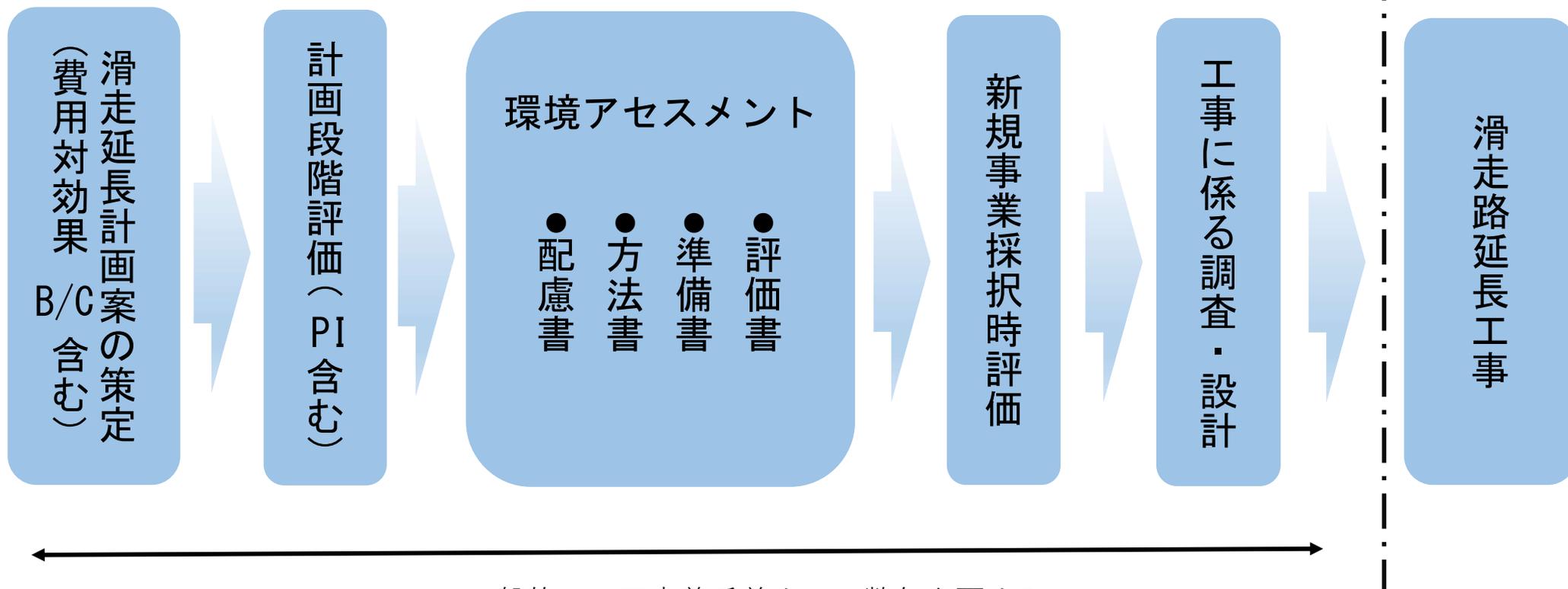
○本日、国の令和2年度当初予算において、北九州空港滑走路延伸の調査費が計上されることとなりましたので、お知らせします。

2-(4) 今後の取組み予定について

RESA (滑走路端安全区域) 調査・設計

R8年度までに
RESA工事着手

【一般的な作業の流れ】



一般的には工事着手前までに数年を要する

※PI (パブリック・インボルブメント)

関係地方公共団体が空港整備主体者と連携して、空港の周辺地域の住民などのPI対象者に情報を公開した上で、広く意見を把握し、計画策定過程にPI対象者の参画を促すことをいう。